

1日目 10月18日(土) 京都会館 12:00~受付開始

●現地歓迎行事 12:30~

大衆芸能として発展した「**六齋念仏踊り**」
 仏教では毎月8・14・15・23・30日を六齋日と呼び、この日には鬼などが災いをもたらすと言われ、これを追い払うために鉦や太鼓を打ち鳴らしたのが始まりです。不安を払い、街を守る庶民の願いから発し、磨きがかかった六齋念仏踊りを、是非お楽しみに。

ナイター講座 17:30~19:00 ナイター講座は分科会のテーマごとに事前学習を行い分科会の内容に反映させます

- | | | |
|---|---|--|
| 1 地域経済を再生するための地域政策 会場/京都会館
多国籍企業の利権の犠牲にされた農林水産業や地域産業。地域循環型の経済再生と地域づくりの可能性を、数々の地域調査をふまえた提案から学びます。
講師/岡田知弘(京都大学) | 2 社会保障・社会福祉の「構造改革」の現局面 会場/登録会館
医療、高齢者・障害者・児童福祉、生活保護など、社会保障・社会福祉の「構造改革」の構図と、対置する政策の基本を学びます。
講師/日野秀逸(東北大学) | 3 地方分権改革の構図と争点 会場/京都市勤業会館(みやこめっせ)
住民のいのちと暮らしをまもる国と自治体の役割を縮小する一方で、「戦争する国」への策動を強めています。憲法と「構造改革」の関係学びます。
講師/二宮厚美(神戸大学) |
|---|---|--|

現地企画 京都の夜 企画

京都の料飲業者が「おいでやす」とお出迎え。“観光ガイド”にない安心して入れるお店をご紹介します。自治研参加者に特別に、ウェブからのアクセスでクーポンサービスなども計画中!

物産展・売店

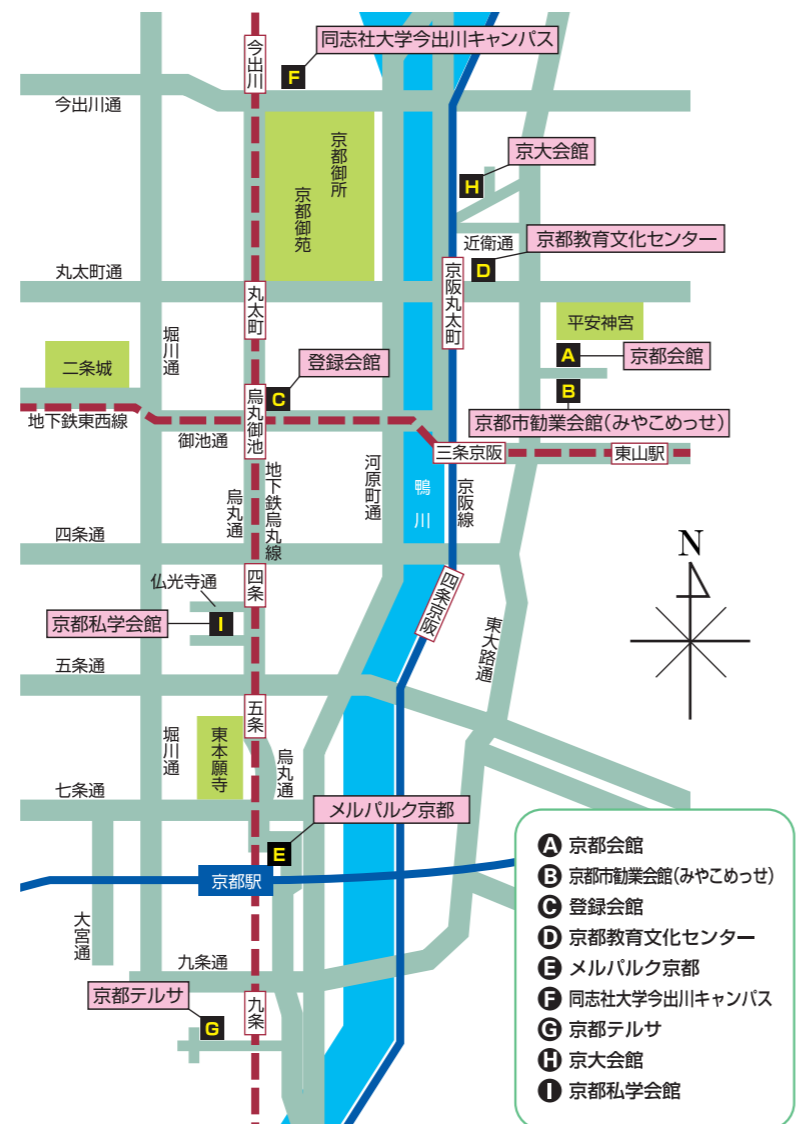
京都の名産品、特産品を中心に物産展・売店を開きます。

会場案内図



交通アクセス

- A 京都会館**
- B 京都市勤業館(みやこめっせ)**
 【京都駅からお越しの場合】
 <地下鉄>
 地下鉄烏丸線(国際会館方面)乗車烏丸御池駅にて地下鉄東西線(六地藏方面)に乗り換え 東山駅2号出入口より北へ徒歩8分
 <京都市バス>
 A-1 乗り場より5系統(5・32・46系統) 乗車「京都会館美術館前」下車 徒歩1分
 D-2 乗り場より206(31・201・202・203・206系統) 系統乗車「東山二条」下車、東へ徒歩約3分
- C 登録会館**
 地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」下車 1番出口・徒歩1分
- D 京都教育文化センター**
 京阪電車「丸太町駅」下車 5番口・徒歩3分
- E メルパルク京都**
 JR「京都駅」下車 徒歩2分
- F 同志社大学今出川キャンパス**
 地下鉄烏丸線「今出川駅」下車 徒歩1分
- G 京都テルサ**
 地下鉄烏丸線「九条駅」下車 4番出口・徒歩5分
- H 京大会館**
 京阪電車「丸太町駅」下車 徒歩7分
- I 京都私学会館**
 地下鉄烏丸線「四条駅」下車 6番出口 徒歩5分



あいさつ

記念講演 13:30~
「信号機を壊した『構造改革』」
佐高 信さん (評論家)

基調フォーラム
「憲法と地方自治—過去、現在、未来」
 舞台上に登場するのは、地域をつくり、暮らしをまもり、政治をうごかす、地域住民や労働者たち。情勢、課題、展望を、ダイナミックに演出します。

全体集会終了

2日目<分科会> 10月19日(日) 9:30~15:30

- 第1テーマ** 暮らしの基盤を確立し、安全・安心で環境にやさしい地域をつくる
- 第2テーマ** 人間らしく生き、豊かに学ぶ
- 第3テーマ** 暮らしをささえ、自治を育て、住民本位の自治体づくり

1 地域経済の振興と自治体のはたす役割 地域経済の担い手である中小業者は新自由主義的な構造改革路線で疲弊してきた。分科会では中小企業振興条例制定など自治体の地域経済政策の先進的な事例を紹介・交流する。 助言者/鎌倉 健(大阪樟蔭女子大学)	9 「人間らしい生活」とは何か—賃金、そして生活保護— 貧困が大きく拡大する一方、社会保障制度は改悪され、生活保護基準も引き下げられようとしている。賃金や生活保護基準を通して、「人間らしい生活とは何か」を考える。 助言者/金澤誠一(佛光大学)	20 都道府県は不要か? 都道府県は不要か。政府は半強制的な市町村合併を進めながら府県を空洞化させ道州制導入へ動き出した。政府・財界の狙いは? 広域行政の真の担い手は果たして…。 助言者/村上 博(香川大学)
2 食の安全・安心、農林水産業と地域再生 温暖化と世界的食料危機が深まり農林水産業のあり方が問われる中、構造改革で進む地域崩壊の流れを変え、生産者と消費者、自治体が共同して農林水産業と地域再生の道を探る。 助言者/庄司俊作(同志社大学)	10 人間らしく働き生きるために—派遣・パート・非正規— 格差と貧困の解消は雇用問題が主要要素であり、最賃・パート労働法・均等待遇・公契約条例(法)・リビングウェッジ・派遣法の実態や課題を交流し、今後の運動方向を探る。 助言者/脇田 滋(龍谷大学)	21 合併市町村・自立市町村の課題と展望 市町村合併の結果、サービスと負担はどうなったか。住民の意思は行政に反映しているか。また、合併に頼らず自立をめざす自治体の課題とは何か。自治とサービスを検証する。 助言者/岡田知弘(京都大学)
3 地球環境を悪化させる日本のごみ行政 大型焼却炉の大量焼却で温暖化を促進し、廃棄物の海外輸出で環境破壊も。民間委託の入札制度など、わが国のごみ問題は解決に向かっていくのか。行政としてやるべきことは何か探る。 助言者/田口正巳(立正大学)	11 安心して暮らせる介護保障—介護労働者に誇りと働きがい— 福祉人材確保を含めて安心して暮らせる介護保障を考える。介護報酬削減により介護労働者の低賃金・長時間労働が進み、高い離職率、人員不足、サービス低下などの課題も検証する。 助言者/河合亮義(明治学院大学)	22 公務公共サービスの民間開放と住民の暮らし 規制緩和による公務・公共サービスの民間開放、市場化が進められる中で、安全・安心、福祉・暮らし、地域の実態を明らかにし自治体業務の公的責任と住民の暮らしを問う。 助言者/二宮厚美(神戸大学)
4 安心して住み続けられるまちづくり 高速道路よりも身近な生活道路や教育・福祉にまわすの声を広げる一方で、京都市の景観条例制定運動に見られるような住民主体のまちづくり運動や住民の取り組みを展望する。 助言者/中林 浩(神戸松蔭女子学院大学)	12 障害者の権利と自立支援法 構造改革路線・障害者自立支援法により障害者(児)福祉の後退や自治体間の格差が顕在化している。厚労省の見直しの問題点と自治体の役割、共同の運動を議論する。 助言者/二見清一(足立区中部福祉事務所)	23 監視国家と国民の自由・プライバシー 生活安全条例や監視カメラの設置等監視社会の強まりと住基ネットを基盤とした電子行政、IT社会の進展が私たちの暮らしと地域に何をもたらすのかを考える。 助言者/黒田 充(自治体情報政策研究所)
5 環境破壊と大型開発を問う—地球温暖化防止の社会づくりへの視点から 大型開発などによる地域の環境破壊は「地球温暖化」に直結する。温暖化防止という視点から大型開発にどう立ち向かうのか市民と自治体・労働者の役割を考える。 助言者/白石孝享(龍谷大学)	13 住民のいのち、健康を守る地域医療の確立 社会保障費削減や医療構造改革により、地域医療は崩壊寸前である。医療を地域の共有財産としてとらえ、住民が主人公となる「地域丸ごと健康」の実現に向けて課題を探る。 助言者/日野秀逸(東北大学)	24 町内会・ボランティア・NPOと行政との協働—身近な自治の仕組みづくり— 団塊世代の「地域デビュー」、町内会・ボランティアなど、さまざまな市民活動が盛ん。市民と行政との協働、「身近な自治の仕組みづくり」について、自由かつ大胆に議論する。 助言者/広原盛明(龍谷大学)
6 災害列島の対策と復興 阪神大震災や中越地震の教訓をふまえ、災害に強いまちづくり、救援・復興で、自治体の役割、耐震診断・地域コミュニティ等を議論し災害での貧困と格差を考える。 助言者/塩崎賢明(神戸大学)	14 住民と働くものの健康づくり 健康の自己責任論に基づいた「特定検診・特定保健指導」ではなく、労働や社会環境も含めた健康づくりについて、実態や課題を明らかにし具体的な共同の取組みを展望する。 助言者/山本 繁(元尼崎市医務監)	25 自治体財政の確立と税負担のあり方 三位一体改革、財政健全化法の下で、財政健全化至上主義が強まっている。自治体(職場)の実態と財政分析のとりくみを交流し、地域の活力をとりもつ財政のあり方考える。 助言者/平岡和久(立命館大学)
7 交通改善で住み良いまちづくりを 道路特定財源の一般財源化を契機にモータリゼーション一辺倒から公共交通の充実へ。そして地方分権にふさわしく、公共交通政策の計画と実施での地方自治の力を展望する。 助言者/土居靖範(立命館大学)	15 いつでもどこでも誰でも医療を受けられる医療保険制度を 年齢で医療を差別する後期高齢者医療制度がスタート。国民健康保険も資格証明書の発行が増えている。すべての人が等しく医療を受けられる医療保険制度を考える。 助言者/岡崎祐司(佛光大学)	26 民主的自治体づくり かつての革新自治体はどう発展しているのか。自治体民主化の鍵を握る首長、議会、住民(運動)、職員と労働組合。それぞれの立場からの民主的自治体づくりを探る。 助言者/山田兼三(兵庫・前南光町長)
8 「戦争する国」づくりと基地・自治体 国民のいのちを守るためという米軍基地、そして思いやり予算。なぜ?という思いは誰の心の中にもある。全国各地の事例をもとに平和と地方自治について学びあう契機にする。 助言者/	16 住民の学習文化運動と社会教育・生涯学習 いのちと暮らし、人間の尊厳を守ろうと取り組まれている住民の学習文化運動に学び、改正教育基本法のもとでの社会教育・施設をめぐる闘いを交流し、それぞれの発展を展望する。 助言者/井上英之(大阪音楽大学)	27 「構造改革」と「ワーク・ライフ・バランス」—男女平等社会の実現のために— 両立支援として「ワーク・ライフ・バランス」が強調されている。「構造改革」で保育も教育も福祉もがたがた。これで本当に有効なの?さまざまな分野から検証する。 助言者/
30 美山の町づくり、自然と歴史を訪ねる 過疎と財政危機の中で、「日本一の田舎づくり」を合言葉に困難に立ち向かった美山の町づくりは、大きな成果をあげ、全国から注目されています。美山の豊かな自然の中で、お話を聞き、その成果を訪ねます。 定員/40人 参加費/3000円(別途:昼食代2000円) 助言者/高野美好(南丹市会議員) 助言者/海澤 修(美山診療所事務長) 助言者/有限会社「かやぶきの里」のふより	17 子どもを健やかに育む社会(就学前の子どもたち) 「新待機児童ゼロ作戦」が出され、保育の「市場化」にむけた動きが強まっている。子どもが大切にされ、安心して子育てし、働き続けられる社会を考える。 助言者/浅井春夫(立教大学)・杉山隆一(大阪保育研究所)	28 いまから始めるわがまちの財政分析 財政危機を理由に、住民要求が阻まれ、職員賃金は大幅削減。財政健全化法や公会計制度へ新会計基準が導入されたもとで、わがまちの財政を住民の立場から分析する基礎講座。 講師/初村尤而(大阪自治体問題研究所)
31 映画発祥の地 京都とまちの力 京都の映画の歴史や町衆と行政のとりくみを学びます。太事で映画撮影の技術者の話を聞き、映画をまちづくりに生かす商店街、映像資料の収集・保存・展示している京都文化博物館を見学します。 定員/30人 参加費/4000円(交通費・昼食・入場・入館料込み) 助言者/村主哲夫(元東映労組委員長)	18 子どもたちの権利と教育 新自由主義的「教育改革」の下での学校統廃合、放課後事業導入後の学童保育や子どもたちの変化、子どもたちの権利を守る地域の共同した運動から学び合い方向性を探る。 助言者/市川 哲(京都教育センター)	29 地球・環境政策と温暖化問題 産業活動から排出された温室効果ガスが引き起こす温暖化、国境を越える環境汚染。政府は何をしなければいけないのか、自治体や住民・労働者が何ができるのかを学ぶ。 講師/植田和弘(京都大学)
32 京のまちづくり—新景観政策と西陣の町家— 京都のまちなみと景観破壊、中心部の変貌に焦点をあて、その現状とそれに抗してたたかってきた住民運動とそれらにより実現した新景観政策。そして西陣の町家を紹介し、学びます。 定員/25人 参加費/3000円(別途:弁当代1300円/拝観料300円) 助言者/古武博司(「西陣の町家・古武」主宰) 助言者/榎田基明(新建築家技術者集団京都支部幹事)	19 今もとめられる食育、ゆたかな給食の実現で 子どもたちの食の貧困が問題になり、食育が重要になっている。子どもたちの現状から求められる給食の役割・可能性を再認識し、関係者の取り組みを交流する。 助言者/新村洋史(中京女子大学)	講座 29 地球・環境政策と温暖化問題 産業活動から排出された温室効果ガスが引き起こす温暖化、国境を越える環境汚染。政府は何をしなければいけないのか、自治体や住民・労働者が何ができるのかを学ぶ。 講師/植田和弘(京都大学)

現地分科会
 申込受付8月1日から先着順
 現地実行委員会 ☎075-801-1816
 参加費は並日徴収会申込受付は現地実行委員会へ

アルファベットは会場を示しています。会場案内図をご覧ください。